

Dialogue 37 Advising someone - したほうがいいと教える -

練習問題の正解と解説

ハインリックには日本で行きたい所がたくさんあります。そこに行ったら何をしたら良いか、ふさわしいアドバイスを選びましょう。

1 **I want to go to Kyoto. But what should I do there?**

(私は京都に行きたいのです。しかし、私はそこで何をすべきでしょうか。)

A **You should visit the many temples and shrines.**

(あなたはたくさんの神社や寺院を訪れるべきです。)

B **You should go to the beach.**

(あなたはビーチへ行くべきです。)

正解：A **You should visit the many temples and shrines.**

解説：京都に行きたいというハインリックにふさわしいアドバイスはどちらでしょうか。

京都には神社や寺院など歴史的建造物がたくさんあります。日本にやってきた外国人にこのような日本文化を紹介することはとても大切です。ハインリックも異文化に接する機会を得てきっと満足するでしょう。

2 **I want to go to Hokkaido. But what should I do there?**

(私は北海道に行きたいのです。しかし、私はそこで何をすべきでしょうか。)

A **You should go surfing.**

(あなたはサーフィンをしに行くべきです。)

B **You should go skiing.**

(あなたはスキーをしに行くべきです。)

正解：B **You should go skiing.**

解説：「～しに行く」というとき”go+動詞 ing”を使います。「泳ぎに行く」=”go swimming”

「ジョギングしに行く」=”go jogging”などのように表現することができます。

北海道は日本北部に位置し、冬の寒さが大変厳しいところです。ハインリックには大雪が降ることを教えウィンタースポーツに最適だとアドバイスすることができます。

3 I want to go to Tokyo. But what should I do there?

(私は東京に行きたいのです。しかし、私はそこで何をすべきでしょうか。)

A You should hike in the mountains.

(あなたは山でハイキングをするべきです。)

B You should visit the tall buildings.

(あなたは高層ビル街へ行くべきです。)

正解：B You should visit the tall buildings.

解説：東京は日本の首都であり、商業や金融などの世界的中心都市だといえるでしょう。

ですからハインリックには東京で高層ビル街や近代的建造物を訪れることをアドバイスすると良いでしょう。

4 I want to go to Okinawa. But what should I do there?

(私は沖縄に行きたいのです。しかし、私はそこで何をすべきでしょうか。)

A You should go to the beach

(あなたはビーチへ行くべきです。)

B You should go skiing.

(あなたはスキーをしに行くべきです。)

正解：A You should go to the beach.

解説：沖縄は日本の南部に位置し、一年中温暖で自然豊かなところです。冬でも暖かく雪が降ることはほとんどありません、ハインリックには、ビーチへ行って美しい海を満喫するようにアドバイスすると良いでしょう。

■ 人に助言をするときに **should** = 「～すべきである」を使います。

You **should** go there. (そこへ行くべきです)

You **should** visit the many temples and shrines. (たくさんお寺や神社を訪ねるといいよ)

■ **should** はやや強い印象を与えます。他の表現と比較してみましょう。

You **should** go there. (そこへ行くべきです。)

断定したり、意見をはっきり述べたりする時に使います。

You **could** go there.

You **might** go there. (そこに行ってもいいですね。)

断定を和らげ、控えめに提案する時に使います。

■ アドバイスを求めるときには **What should I do there?** (そこで何をすべきでしょうか?) とたずねます。do (する) 以外にも次のような動詞を用いることで様々な表現を作ることができます。

What should I eat there? (そこで何を**食べる**べきでしょうか?)

What should I study there? (そこで何を**勉強する**べきでしょうか?)

■ このダイアログでは **I want to... But ~?** とたずねています。行ってみたい場所は決まっているのですが、「(でも) そこで何をすればいいのか分からない」または「(でも) そこで何ができるのかわからない」ため **But....** (でも...) という表現を使ってアドバイスを求めているのです。外国人に日本の観光地をアドバイスする時は、相手の要望をよく聞きながら、場所、気候、史跡、郷土料理、交通手段などについて情報を提供すると喜ばれるでしょう。